



学生発案『Happy Bus 停プロジェクト』 『ASA ZOO Road』が完成しました！！



広島市郊外の団地では、高齢化・過疎化やマイカー利用の増加等によって路線バスの利用客が減少傾向にあり、地域住民の生活の足であるバス路線の維持が課題となっています。

交通政策部では、広島市安佐北区のあさひが丘団地をモデル地区として、あさひが丘連合自治会、安佐動物公園、バス事業者、呉工業高等専門学校等と連携し、公共交通利用促進に取り組んできました。

この取組から派生した企画として、呉工業高等専門学校 環境都市工学科(神田研究室)の学生5名が主体となり『Happy Bus 停プロジェクト』を立ち上げ、フィールドワークや動物園へのプレゼン等を重ねてきました。

そして平成30年2月28日、『ASA ZOO Road』がついに完成しました。安佐動物公園バス停付近には、園内でみることができる動物達の豆知識等を紹介したパネル9枚が並び、閑散としていたバス停付近が賑やかで楽しい雰囲気に変身しました。



取り付け作業は学生自ら行いました

当日はテレビ・新聞の取材も受け、取組について広くアピールすることが出来ました。

Before



なんだか寂しかったバス停が...

After



動物達が賑やかに出迎えてくれるバス停に！

※『Happy Bus 停プロジェクト』とは

バスは待ち時間が長く退屈・不便といったイメージを払拭し、バス待ち環境を楽しく快適にすることで利用促進に繋げようと、学生のアイデアにより発足したプロジェクトです。具体的には、安佐動物公園の魅力発信・バス情報提供サービスの向上・マナーアップによるバス待ち環境改善の3つを柱としています。

※『ASA ZOO Road』とは

前述のプロジェクトのうち、「安佐動物公園の魅力発信」に主眼を置き、来園者がバスを降りた瞬間から楽しむことが出来るよう、動物の見どころや豆知識を掲載したパネルを安佐動物公園バス停(あさひが丘方面)付近に設置しました。

安佐動物公園の魅力を子ども向けの目線で、また外国人にも紹介できるよう、日本語と英語の二カ国語表示とし、学生が主体的に企画・デザインを行い、観光・交通行動学専門の神田佑亮教授、英文学専門の蒲地祐子講師の監修の下、制作しました。

中国運輸局が呼びかけ2年間継続してきたあさひが丘団地での取組は、この3月で一旦終了となりますが、今後も地域住民と公共交通事業者がタッグを組み、関係機関と共に地域交通の維持のため活動を続けていければと考えております。



安佐動物公園
南園長



呉工業高等専門学校 神田研究室
プロジェクトメンバーの皆さん



新聞記者の取材を受ける
あさひが丘連合自治会 尾田会長



ぜひバスで安佐動物公園へお越し下さい。